



文京 白ばら

題字 和田 清

第 69 号

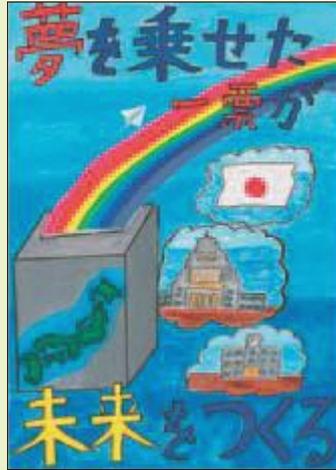
文京区明るい選挙推進協議会
 文京区選挙管理委員会
 〒112-8555 文京区春日1-16-21
 ☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

2019年度明るい選挙啓発ポスターコンクール



文京区優秀賞・東京都入選

第三中学校3年 吉田 理乃さん



文京区最優秀賞

指ヶ谷小学校5年 加藤 ほのかさん



文京区優秀賞・東京都入選

東洋女子高等学校2年 浅見 菜里さん

※他の優秀作品は中面に掲載しています。

7月5日は東京都知事選挙です！オリンピック前に投票しよう！

成人式会場での啓発

1月13日(月)、今年もはたちのつどいが行われる大ホールロビーに特設ブースを設け、Vサポと事務局が協力して、Vサポ企画の2019年流行したものを選ぶ模擬投票を行いました。

2019年流行したものの投票では①タピオカ②ラグビーワールドカップ③令和④ハンドレディファンの4択とした結果、若者を中心に大流行したタピオカが第1位に選ばれました。

はたちの決意(?)を記すひとこと投票では、「育ててくれた親に感謝」「行動に責任を持ちたい」等の新成人らしい意見が目立ちました。

Vサポメンバーの声掛けにより、昨年度よりも多くの方がブースに立ち寄り、投票を体験することで、選挙や政治への関心を高めるきっかけづくりになったのではと考えています。

【参加メンバーコメント】
 100人を超すたくさんの方が投票してくださいました！
 皆さんに楽しみながら投票を体験していただけたと思います。



Vサポ活動報告

今年度は、月に1度の定例会議開催やSNSの更新に加え、選挙時の街頭啓発活動に力を入れました。

昨年度の啓発活動用に作成したオリジナルデザインのグッズに続き、4月の区議・区長選挙と7月の参議院議員選挙用、学園祭やはたちのつどいで常時啓発用にマグネットを作成しました。自分たちで選定し、デザインした啓発グッズを直接多くの方に配布しながら、投票参加を呼びかけることができました。

今年の7月は東京都知事選挙！さらに啓発の取り組みをパワーアップしていきますのでお楽しみに！





明るい選挙啓発
ポスターコンクール

「明るい選挙」の推進と若年層への啓発を兼ねて、毎年行っています。作品は、これから作成するリーフレットやポケットティッシュなどの啓発資材に活用する予定です。

文京区優秀賞



都立工芸高等学校1年 佐々木 詩帆さん



都立工芸高等学校1年 広瀬 真妃奈さん



都立工芸高等学校1年 井上 千尋さん



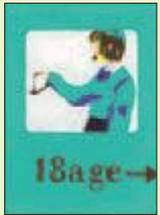
都立工芸高等学校1年 山根 ひなみさん



昭和小学校 6年 阪口 樹里さん



金富小学校 4年 畑上 菜々子さん



都立工芸高等学校1年 中俣 由羽さん



都立工芸高等学校1年 大木 陽平さん



都立工芸高等学校1年 青木 紅緒さん



都立工芸高等学校1年 深田 駿太さん



茗台中学校 2年 金森 爽子さん



明化小学校 6年 貫井 愉加さん

文京区入選受賞者 (敬称略)

中学生の部			小学生の部		
学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
第三中学校	1年	押尾 咲和	昭和小学校	6年	信達谷 美緒
	3年	田村 大翼	金富小学校	3年	村越 咲優
	3年	中村 直翔		3年	千葉 大晴
茗台中学校	2年	大久保 日向	4年	平井 楓己	
第十中学校	2年	根津 和史	本郷小学校	2年	正木 みやび
	2年	板倉 未奈	小田台町小学校	6年	森 一遥



都立工芸高等学校1年 速水 千夏さん



都立工芸高等学校1年 川上 悠太さん



都立工芸高等学校1年 石川 恵大さん

応募者：区内の小・中・高校生 応募総数：228点
 ポスターコンクール協力校（感謝状の贈呈）：区立金富小学校、区立文林中学校
 区の審査：最優秀賞1点、優秀賞：17点、入選：12点、東京都と全国（中央）の審査：入選ともに2点

学園祭での啓発



令和元年11月3日(日)、東洋大学白山キャンパスにおいて、Vサポを含めた三者協力のもと、啓発活動を行いました。
 推進委員によるポケットティッシュを活用した投票参加の呼びかけから、特設ブースでの模擬投票や選挙に関するクイズの実施などに、たくさんの方が足をとめ、ブースに立ち寄ってくださいました。
 今年は新たな取り組みとして、クイズ参加者に、その答えを載せたVサポメンバーデザインの投票済証を作成し、お渡ししました。
 学園祭での啓発は、推進委員間においても、直接若者と交流を持つ貴重な取り組みであると大変好評であり、ブース来場者も年々増加傾向にあることから、更に充実したものにしていきたいと考えています。



Vサポメンバーデザインの投票済証

地区別座談会

令和元年10月の話しあい強調月間に合わせて、2会場で実施しました。

今回は「日本の選挙、世界の選挙」をテーマに、学生団体「Voteメンバー」の留学を通して触れ合った各国の人々の政治意識や外国の選挙制度について紹介した後、意見交換を行いました。

各会場には明るい選挙推進委員を中心に、延べ76人の方がおいでになり、「家族で投票所に来る人が増えた」、「家庭での教育が大事だ」など、今後の活動の方向性を定める上で、とても参考になる意見が出され、盛況なうちに閉会となりました。



汐見地域センターの様子 (ほかにもシビックセンター 26 階スカイホールで実施)



投票用紙リサイクル

投票用紙は普通の紙じゃないって知ってますか？
そして、リサイクルされているって知ってますか？

選挙で投票したことがある方なら、一度は触ったことのある投票用紙。実は、折って投函しても、投票箱の中で自然に開く特殊な素材でできています。その投票用紙は、一定の保存期限を経過した後、東京23区では、とりまとめてリサイクルし、プラスチック製品などに生まれ変わっているのです。

それでは、投票用紙はどのようにリサイクルされているのでしょうか。

1 選別と混同

まず、回収した投票用紙は、工場に運ばれ、用紙を束ねている輪ゴムやクリップなどを手作業で取り除きます。一枚一枚バラバラになった投票用紙は、不用になったお菓子のパッケージなど、いくつかのプラスチック製品と一緒にベルトコンベアで運ばれます。

2 粉碎と溶解

混ぜられたプラスチック製品は、細かく粉碎した後、溶解され液状になります。

3 冷却

黒い液体の状態で小さな穴から押し出され、水のはったプールと呼ばれる工程で冷やされ、細い棒状の固体になります。

4 細断と袋詰め

その後、細断されて粒状の「ペレット」と呼ばれる再生原料となり、大きな袋に詰め込まれます。

5 検査・製品

このペレットが原料となり、検査を経て、新たなプラスチック製品やパーツなどの部材へと生まれ変わります。

ご覧のOAフロアや物流用パレット、ハンガーやうちの骨部分などの部材として再活用されます。



総務大臣表彰等を受賞

選挙制度100周年を記念した総務大臣感謝状に続き、「第25回参議院議員通常選挙に係る総務大臣表彰」を、永年に亘り選挙啓発活動にご尽力された文京区明るい選挙推進協議会副会長の村田央子様を受賞しました。

ここに、村田副会長の明るい選挙の実現に向けた継続した啓発活動に対し、あらためまして感謝申し上げます。



村田副会長経歴 平成元年5月明るい選挙推進委員に就任。平成14年4月明るい選挙推進協議会委員。平成28年4月同副会長となり現在に至る。

今年国分寺市明るい選挙推進協議会と意見交換



令和元年11月28日(木)文京シビックセンターに国分寺市明るい選挙推進委員等19人を迎え、啓発の取組み全般について、意見交換を行いました。まずは文京区、その後、国分寺市と互いの取組みを紹介し合いの交流を深めました。1時間という限られた中でも、活発に話しあうことができ、今後の協議会活動にも活かせる有意義な時間となりました。

るびー



礪川地区
北條みづ枝

今年のお正月は中学生と一緒に東京ドームの福祿寿からスタートし、源覚寺の毘沙門天、福聚院の大黒天、真珠院の布袋尊、宗慶寺の寿老人、極楽水の弁財天、徳雲寺の弁財天（男弁天）、深光寺の恵比寿と「小石川七福神めぐり」をしました。

この時の朱印帳によると、除難と招福を願う七福神詣での由来に定説はありませんが、室町時代に京都で行われていた記録もあるとか。江戸時代に入り、天台僧正が徳川家康公に仁王護国経の「七難即滅、七福即生、人民安楽、帝王歡喜」を引用し「將軍には長寿、人望、威光等の七福相がある」と言上し、それに相応して寿老人等を示してから一般化したそうです。因みに小石川七福神は、平成7年に発足したこの事です。

雨の降る中でしたが2時間ほどかけてゆつくりと、しばらく地蔵まで足を延ばしました。この中高生との交流を通して感じたことを、今後の若年層啓発にも活かさせていただきます。



白ばらセミナー・若者フォーラムを開催

令和元年10月26日(土)
午後2時から午後4時30分まで
文京シビックホール 小ホールにて

第一部の基調講演は、講師に読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏をお迎えし、これまでの日本の政治情勢に、ご自身の体験談を交えて将来の展望について語る、大変わかりやすい内容であつたという間の75分でした。



続く第二部のパネルディスカッションでは、進行役の埼玉大学社会調査研究センター長の松本正生氏を中心に、異なるライフステージに立つ4人に、第一部の橋本五郎氏も加わり、各々の立場から、普段、家族や友人と話している政治や選挙に関わる内容について話し合いました。その中でも、登壇した選挙啓発団体の学生が、活動を通して感じていることを率直に語った局面では、来場者の多くが頷くなど会場内に一体感が生まれました。改めまして、ご来場いただきました多くの方に感謝申し上げます。



パネリスト
金杉龍吾氏 (学生団体 ivote)
吉田京子氏 (文京 Vote Supporters)
弘世京子氏 (主婦)
坂巻三登氏 (文京区明るい選挙推進協議会副会長)

東京都明るい選挙推進大会



令和元年11月5日(火)、今年府中の森芸術劇場どりーむホールにおいて開催され、文京区からは28人の明るい選挙推進委員と選挙管理委員が参加しました。
式典後の講演では、国と地方の大きな選挙を終えた年相応しく「日本政治の行方」について、時事通信社政治部長の水島信氏みづの しのぶが話され、大変興味深い内容でした。

管外視察

令和元年11月19日(火)、秋晴れの中、臨海地域にある、日常生活を送る上で必要な2つの施設を、総勢49名の推進委員等で視察してきました。

まず、東京都虹の下水道館に伺い、普段は入ることのできない下水道処理施設を見学し、下水道の役割や環境の大切さを再認識しました。



次に訪れた東京臨海広域防災公園では、首都直下型地震を想定した、防災体験シミュレーションや映像学習から災害時のみならず平常時からの「自助・共助」の重要性を確認しました。

環境や防災などの身近な生活に関わる話題は、会話を始める切り口として有効なものであり、今後の話しあい活動に生かしたいと思えます。

編集後記



元号が令和になって初めての年明け。いくつが新年の会合に出席しましたが、挨拶する人の多くが揃って「今年は東京2020オリンピック・パラリンピックの年ですわね」の大売り出しです。千支の子年など、他の話題があまり聞かれない新年早々、白ばら本号の第1回編集委員会は開催されました。

紙面構成の話し合いが進む中、投票用紙リサイクルの記事を掲載してはどうかと事務局から提案があると、委員の全員が興味津々、その話題で盛り上がりました。投票用紙は普通の紙ではなく、特殊な紙でできており、リサイクルされていることを初めて知りました。

今年はおリバラを控えて、既に東京都知事選挙の投・開票の日程が7月5日(日)と示されました。現職が再選を目指して立候補するのか、そこに強力な対抗馬が現れるのか。何れにしても、これから先の4年間、私達都民の生活の舵取りを任せられる人を決める大事な選挙なので、棄権の無いよう、我々明るい選挙推進委員も啓発に力を入れて臨みたいと思えます。
(小守正平 記)

選挙人名簿登録者数(3月2日現在)

男性	85,977人
女性	97,048人
合計	183,025人

編集委員

- 北條みづ枝・伊古田憲子・小守 正平
 - 細井 克哉・鎌倉 精一・尾藤 育美
 - 武田 文夫・富所由紀子・小野 朋子
- (地区順)